

なばり

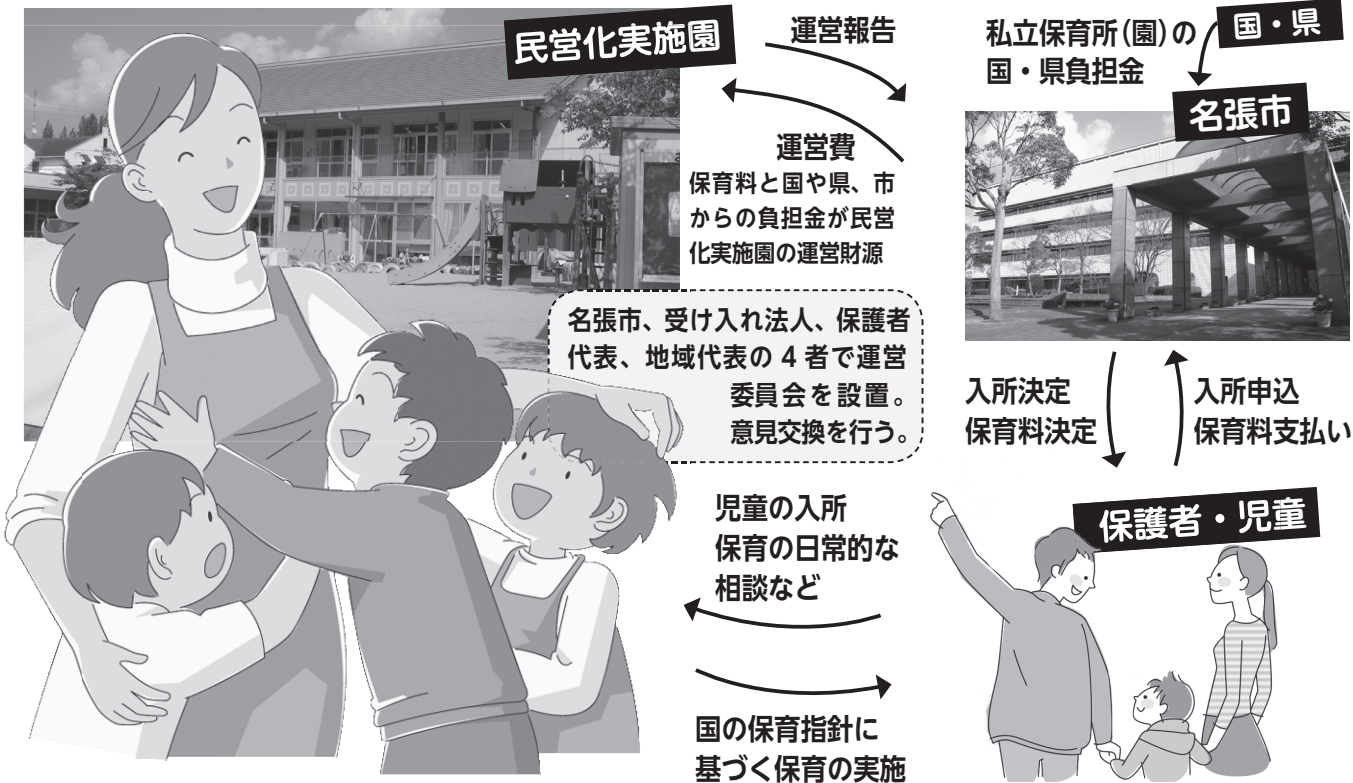
2010年(平成22年) 6月27日発行

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1
 ☎0595-63-7402 ㊚64-2560 ✉info@city.nabari.mie.jp
 ㊚http://www.city.nabari.lg.jp
 携帯版㊚http://www.city.nabari.lg.jp/m_index.htm
 バーコード読み取り対応の携帯電話端末から携帯版㊚へ



▶ 主な内容 P1…保育所全園民営化を見直し P2…後期高齢者医療制度 P3…ひまわり P4…低炭素社会を考え実践する日

民営化実施園、名張市、保護者・児童の関係



保育所全園民営化を見直し

薦原・赤目・錦生・大屋戸保育所は、当面の間、「公立」を維持。

平成23年4月、桔梗が丘・蔵持・比奈知・滝之原保育所を民営化予定

市では、今年度から3年間で毎年4保育所ずつ民営化する計画を進めてきました。しかし、薦原、赤目、錦生、大屋戸の4保育所については、公立保育所として維持していくこととしました。これは、民営化受け入れ法人へ無償貸与する保育所用地の整理が困難となったためです。

民営化に向けた取組みと、全園の民営化方針を見直し

昨年5月に「公立保育所民営化実施計画」を策定。これに基づき、今年4月に、昭和・名張西・東部・西田原保育所を民営化しました。今後は、桔梗が丘・蔵持・比奈知・滝之原保育所について、市内の社会福祉法人や学校法人を対象に一般公募し、保護者や地域の代表者と市で構成する委員会を受け入れ法人を選定。保護者への説明などを行い、平成23年4月に民営化を実施する予定です。

一方、平成23年度以降に民営化実施予定だった薦原・赤目・錦生・大屋戸の4園は、当面の間、公立保育所として維持していくこととしました。保育所を民営化する際、敷地を受け入れ法人へ無償貸与することになりますが、これらの園では、敷地に係る多くの相続人との交渉が必要で、現状では、用地を整理し、貸与することが困難なためです。なお、公立保育所

には、市の保育士を配置し、これまで培ってきた専門性や豊富な経験を生かしていきます。

そもそも、市は、なぜ保育所の民営化を進めているのか？

平成16年度以降、公立保育所に対する国や県からの補助制度が廃止され、市の財政をひっ迫させる原因の一つとなっています。その一方で、保育所の運営コストは増加傾向にあります。女性の社会進出などにより、入所希望者が増加。また、保育時間の延長や、障害児保育などへの需要が高まっています。

年度ごとの民営化実施保育所

平成20年度	箕曲保育所
平成22年度	昭和保育所 名張西保育所 東部保育所 西田原保育所
平成23年度	桔梗が丘保育所 蔵持保育所 比奈知保育所 滝之原保育所

※国津保育所は、市が直接設置すべき「へき地保育所」として、民営化ではなく、平成16年度から民間委託を実施しています。

7月以降の救急医療体制について

今週号で伊賀地域の救急医療体制について掲載する予定でしたが、6月23日現在、7月以降の救急医療体制について調整中であるため、掲載が間に合いませんでした。そのため、詳細が決定次第、新聞折込などで市民の皆さんにお伝えする予定です。

健康福祉政策室 ☎63・7579